

ビジネスの現場で学んだスキルや知識を体系化して教える「実務家教員」が注目を集めている。2019年4月から制度化された専門職大学院では教員の4割以上を実務家教員とするのが求められる。人生100年時代に社会人が学び直すリカレント教育を担う教員として期待されている。

求ム！実務家教員

「投資のために勉強した専門理論と顧客からお金を預かって動かしてきたノウハウの両輪で授業を行える」。山口智弘さん(48)は、ファンドマネジャーの経験を実務家教員として研究・教育活動に生かす。

社会人4年目に営業マンとして働いていた山一証券が経営破綻した。新しい職場で働きながら夜間の大学院に通って投資理論を学び、転職先の信託銀行や資産運用会社でファンドマネジャーとして活躍した。

社会情報大学院大学(東京・新宿)の実務家教員養成課程の1期生となり、ビジネス・ブレイクスルー大学院(東京・千代田)助教に就任。4月からは非常勤講師として別の私立大学でも保険論を教える。都内の工業大学で4月か

セカンドステージ

あなたのビジネススキル 教わりたい人がいる



実務家教員養成課程の受講生④とキャリアの相談に応じる教員(社会情報大学院大学)

「実務家教員としてマーケティングを教える中溝一仁さん(46)の強みは、これまで100回以上主宰したビジネスパーソン対象の勉強会で知った実務事例だ。中溝さんは大学4年で起業する。一方で大学の社会学研究室にも残り、企業経営と大学講師の二足のわらじを歩いた。さらに学び直して実務家教員となった。「経営学の研究者は理論に合った事例を探すが、実務家教員は自分が経験したいいろいろな事例をわかりやすく説明する理論を見つけて教える」と解説する。実務家教員は単に知識を教えるのではなく、実務の現場に埋もれている暗黙知を一般化・理論化して伝える必要があるといわれる。仁保聡一郎さん(52)は電機メーカーで商品設計やマーケティングを担当した。中小企業診断士の資格をとって独立したばかりだが、専門学校2校で企業研究やマーケティングの授業を受け持つ。「実務家の視点で他の業種の事例なども盛り込むなど授業作りを工夫している」と話す。

社会人の学び直し担う

実務家教員は、20年中に1校になる専門職大学院、専門職短期大学では中心的な役割が期待される。設置基準では、おおむね教員の4割以上の実務家教員を登用し、専門教員の2割以上は研究能力を併せ持つ実務家とするのが求められる。4月から始まる高等教育修学支援制度では、対象となる大学、短大、専門学校は実務経験のある教員が担うとされており、1000を超えて大学・短大で実務家教員が講義を行うことになりそうだ。実務家教員を含めて大学教員となるには特に資格は必要ないが、「実務家の多くは90分の講演はできて、授業を体系的に行う」とは難しいと社会情報大学院大学の川山竜一学監・研究科長は話す。18年に実務家教員養成課程を

「著名な起業家は客員教授として入ってもらおう。一方で、実務家教員はITの研究に携わっていた人や国際ビジネスを手掛けていた人、財務一筋の人などを採用した。在学中に学生が起業する際の相談につきっきりで応じてもらう。研究者教員は産学連携をしてきた人たちがなので、実務家教員とごまか連携して学生たちを指導してくれると思おう」

「著者な起業家は客員教授として入ってもらおう。一方で、実務家教員はITの研究に携わっていた人や国際ビジネスを手掛けていた人、財務一筋の人などを採用した。在学中に学生が起業する際の相談につきっきりで応じてもらう。研究者教員は産学連携をしてきた人たちがなので、実務家教員とごまか連携して学生たちを指導してくれると思おう」

3月末に課程を修了する金融機関勤務の脇田也さん(40)は「自分の仕事を棚卸して、何が教えられるかを明確にした後でシラバス(授業計画)の作り方を教わった。実務家ならではの強みを生かした授業が見えてきた」と話す。川山さんは、実務家教員は「教えたいという強いモチベーションが必要」と言う。目指すには「自分が教えた領域の学会に入ること。最新の理論を知っておくこと。日記をつけて毎日の仕事を客観的に見直すことも大切」とアドバイスする。(相川浩二)

4月に開校する情報経営イノベーション専門職大学(東京・墨田)は実務家教員を積極的に採用した。中村伊知哉学長に、実務家教員への期待などを聞いた。「専門職大学院は大学と専門学校の間に位置づけられるのではなく、大学に専門学校の機能が加わるものだ。ITビジネスを教えるため、実務家教員を2人採用した。教員全体の4分の3を占める」



人材確保で企業と連携

「200社を超える企業から教員派遣やインターンシップなどで『協力したい』との申し出がある。企業にとっても優秀な学生を確保しやすいので協力したいと思うよ」